

# Théâtre des Opérettes Françaises-17

## テアトル・オペレッタ・フランスーズ-17

監修：村田健司 全字幕つき

8月25日(日) 19:00開演 (18:45 開場) 入場料：3000円  
会場：西武池袋線大泉学園駅直結 ゆめりあホール (TEL：03-5947-2351)

### メノッティ作曲 「テレフォン」(フランス語版)



ルーシーへのプロポーズを決意し、彼女のもとを訪れるベン。  
「大事な話があるんだ」しかし、話し始めようとする彼の言葉を遮るように  
次々とかかってくる電話。出張に出かける時間が迫る中・・・最後の手段とは??

ルーシー：石井 愛 ベン：笹倉直也 ピアノ：門 真帆

～フィアンセからの挑戦状～

### メサジエ「ヴェロニク」

ピアノ：石川真帆

フロレスタンは、放蕩生活を送る若者。青春を謳歌することこそが全て。  
そんな彼の借金を発端にして起こる騒動。結婚を夢見てやって来た  
婚約者ヴェロニクは、ひよんなことからフロレスタンの正体を知ってしまい・・・



エレヌ(ヴェロニク)：増田紋子 (地方の名家の令嬢。)

フロレスタン子爵：吉川響一 (遊び好きの貴族官僚)

エルメランス(エステル)：浅田亮子 (エレヌの叔母で未亡人。)

アガーテ：秋田 薫 (花屋の主人コクナールの妻。)

コクナール：大倉修平 (花屋タンブル・ドゥ・フロールの主人。国民軍の指揮官に憧れる)

### メサジエ「ムッシュー・ボーケール」

ピアノ／染矢早裕子

～ パラは恋の花 ～

ムッシュー・ボーケールはフランス大使館つきの床屋。  
ある日 身分を偽って 社交界の花レディー・マリーに近づく。  
ふたりの恋の行方は? 「謎のフランス人」ボーケールの正体とは?



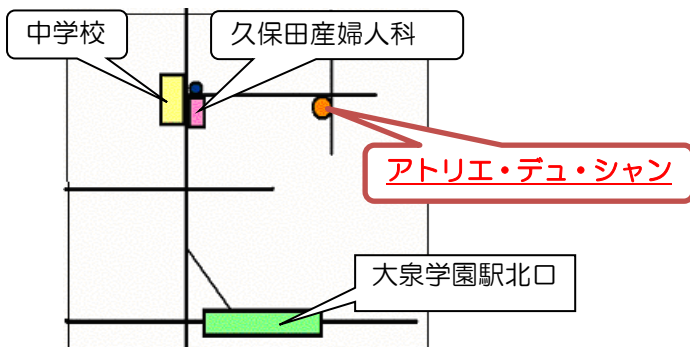
ムッシュー・ボーケール／吉永研二 …… フランス大使館つきの床屋。

レディー・マリー／千野由紀子 …… イギリス社交界の花。

ウィンターセット公爵／仲俣 聡 …… バース在住の公爵。社交界に精通している。

リュシー／佐藤 彩 …… イギリス社交界の花で、レディー・マリーの従妹。

モリヌー／木村雄太 …… フランスの貴族。ボーケールと行動を共にしている。



お問合せ先：アトリエ・デュ・シャン

〒178-0063 練馬区東大泉 3-29-20  
アトリエ・デュ・シャン 代表：村田健司  
TEL/FAX：03-5387-0977  
Email：[info@atelier-d-c.com](mailto:info@atelier-d-c.com)  
ホームページ：[www.atelier-d-c.com](http://www.atelier-d-c.com)

## テアトル・オペレッタ・フランセーズとは・・・？

テアトル・オペレッタ・フランセーズとは、日本語で「フランスオペレッタ劇場」  
「パリの粋」アンドレ・メサジェのオペレッタ、その他のフランスオペレッタを  
大泉学園を本拠地に上演しています。2011年6月にスタート、今回で17回目になります。  
日本ではあまり知られていないフランス・オペレッタですが、その軽やかな音楽と、  
分かりやすく楽しいお話は、誰からも愛される素敵なものばかりです。  
1回の公演で2-3演目、日本語のセリフによるお芝居を挟み、  
演奏はフランス語で日本語字幕付き、初めてご覧になる方にも楽しめる内容、構成になっております。

## 過去に上演した作品は以下の通り・・・

### メサジェのオペレッタ

- 「ムシュー・ボーケール」 **バラは恋の花** 舞台はイギリスのバース。フランス大使館つきの床屋  
ムシュー・ボーケールは、社交界の花レディー・マリーに想いを寄せている。  
彼女に近づくため身分を偽るが・・・「本当の愛」は手に入るのか？・・・
- 「クー・ドゥ・ルリ」 **恋のひと揺れ** クリスマス休暇直前の軍艦モンテスキュー号に突然の視察。  
代議士とその娘がやって来た。船長と海軍士官、そして旅の一座の女優を巻き込んでの大騒動。
- 「ヴェロニク」 **フィアンセからの挑戦状** 結婚を夢見るエレーヌは、婚約者が浮気者と知って激怒。  
名前と身分を偽り、彼に近づき、ギャフンと言わせてやろうと試みるが・・・
- 「パンオネマン」 **情熱的に** アメリカのビジネスマンスティーブンソンは、ビジネスのために  
フランスにやって来た。妻の浮気を防止するため、青い眼鏡と白いカツラを被せて、老婆のフリをさせる・・・
- 「可愛い郵便局長」 **プレシニー村騒動** 1900年のプレシニー村に、パリジェンヌがやって来た！  
村には噂好きな女たち、やる気のない郵便局員と配達係、世話役の公証人夫妻、  
中世の貴族の伝統を守る子爵が居た。
- 「レ・プティト・ミシュー」 **ミシュー家の可愛い双子** フランス革命のただ中、イフ侯爵は一人娘を  
ある商人に託し、イギリスへ逃亡した。それから17年、帰還したイフ侯爵を迎えたのは、双子の姉妹だった・・・
- 「シプリアンはお役御免」 **乱入男の幸せの行方** あるお芝居の上演中、舞台上に上り込んでワメキ散らす男。  
その男を注意しようと一人のマダムが参戦。そのうちに何故か男とマダムは意気投合、舞台は台無しに・・・
- 「ベアルネーズ」 **ベアルンの娘** 16世紀末のパルマ公国が舞台の歴史パロディー。独裁者パルマ公爵の  
もとにふたりのフランス人がやって来て大騒ぎ。死刑か鞭打ちの刑か？でもハッピーエンド？？

## その他のオペレッタ

- シャルル・ルコック：サロン・オペレッタ「**愛の策略**」 ピエロとコロンビーヌの寸劇。コロンビーヌは  
ピエロとアルルカンにある条件を出し、策略を立てる。なぜかピエロに化けて登場し・・・
- シャルル・ルコック：サロン・オペレッタ「**戸でキス**」 売れない弁護士ロバンのもとに舞い込んだ  
2件の離婚訴訟。喜びもつかの間大変な事実が判明し、ふたりは険悪な雰囲気。そして・・・
- デルメ「**月に寄せて**」 ある美しい月夜の晩、ロマンチックにフランススカを誘うベアート。  
しかしフランススカはベアートに違うロマンチズムを問いかける・・・それに応えようとしたものの・・・



### アトリエ・デュ・シャン（歌の工房）主宰： 村田健司（バリトン・レジェ）

東京藝術大学音楽科卒業、フランス政府給費留学生としてパリ音楽院に留学。  
中山悌一、古沢淑子、足田生次郎、  
ジャック・ジャンセン、カミーユ・モラーヌに師事。  
1984年 文化庁芸術祭優秀賞 受賞 二期会会員。

フランス人と日本人が共有する豊かな感性にスポットを当て、フランス音楽を楽しみながら  
言葉の壁を乗り越えることをモットーに指導、音楽活動をしている。  
アトリエ・デュ・シャンのメンバーによる、フランス・オペラ・ハイライトのコンサート「アール・リリック」  
フランス・オペレッタを上演する「テアトル・オペレッタ・フランセーズ」、フランス近代の歌曲を中心とした  
勉強会とサロン・コンサート「サロン・ド・メロディスト」など。後進の指導に当たっている。